



所内 第12回 写真コンクール 入選作「風のオブジェ」 燃料部 鈴木 泰輔

風のオブジェ

釧路から東へ約30km 厚岸湾にいたる間の海岸は 著しい海蝕をうけて ほぼ平坦な丘陵地域から ただちに70~80mの断崖となつて太平洋に接するところが多い。海蝕によって海岸線が後退したさい 当然のことながら 山地が崩落したり 岩質によっては 海岸沿いに岩礁が発達する。

写真は 古第三系の浦幌層群天寧累層と呼ばれる礫岩・砂岩の互層からなる岩塊で 山地から転落したものである。この岩塊は 長年月にわたり 海からの強い季節風によって風蝕をうけた。礫岩に比べ軟かい砂岩部はより深く削られ 削られた砂粒が穴の中で 風に舞い さらに壁をえぐる。さしずめ 風が作った前衛彫刻とでもいふべきか。

一方 発達した岩礁には昆布が密生し 晴れた日には番屋から操り出した昆布船が幾十艘も波間にただよう。これも地質条件が味方した北海道の一風物詩である。

～地質調査所の出版物～

・地質調査所月報 第17巻 第5号

報 文

坊城俊厚・尾上亨：山口県下関市の第三系について
丸山修司・堀本健次・河内英幸・小野寺公児・向井清人・石橋嘉一・後藤進・斎藤友三郎・服部富雄：千葉県磯根岬北部海域の海底表層（新期）堆積物と海底砂鉄
——東京湾口・君津湾海域の海底砂鉄調査研究——
堀本健次・小野寺公児・丸山修司：海底地質調査技術の開発について

——水中テレビ機による予備実験——

概 報

カラーインデックス（田中・片田）

資 料

台地と地向斜について（黒田沢）

講 演 要 旨

北海道瀬棚付近の新第三系（佐川・植田）
北海道熊石町付近の新第三系について（秦）
築別炭鉱付近における泥質岩類の化学組成について（伊藤・泊・横田・上島）
鳥牧一今金地区の金・銀・銅・鉛・亜鉛・マンガン・硫化鉄鉱床について（成田・五十嵐）

・地質調査所月報 第17巻 第6号

報 文

松井 寛：北海道天塩郡幌延町間寒別北西部と旧幌延炭礦付近の地質

根本隆文：天北炭田西部地区曲淵地域地質調査報告

資 料

天然の状態における鉱石組成測定のための放射能探査法の応用（鹿島沢）

講 演 要 旨

伊吹山系の地質構造（宮村）

九州南部時代末詳中生層中の2, 3の含銅硫化鉄鉱床について（清島）

地 質 ニ ュ ー ス	第 143 号	7 月 号
昭和 41 年 7 月 25 日	定 価	〒 220 ・ 千 18
編 集	発 行	
発 行 人	工 業 技 術 院 地 質 調 査 所	雄 雄
発 行 所	株 式 会 社 久 実 業 公 報 社	林 久
	東 京 都 千 代 田 区 九 段 4 の 11	
	Tel. (261) 7173・9387	
	振 替 口 座 東 京 32466	
総 発 売 元	政 府 刊 行 物 販 売 所	
	東 京 都 千 代 田 区 大 手 町 1 の 5	
	Tel. (261) 5570	
印 刷 所	共 同 印 刷 株 式 会 社	